

▼▼▼どんな病気ですか？

腎臓は体液をろ過し身体に有害な老廃物を尿として排出し必要な成分は体内に戻したり、また各種ホルモンを分泌することにより身体の内部環境を一定の状態に保つ働きをしています。慢性腎不全は何らかの腎臓障害が原因となって数年〜数十年の長期にわたり徐々に腎臓の組織が破壊され機能が低下する状態です。初期のうちは自覚症状がないため気づかないうちに腎不全が進行してしまいます。末期になると腎臓がほとんど機能しなくなるため、生命維持のためには腎臓に代わって血液を浄化する透析療法あるいは腎臓移植が必要になります。

▼▼▼原因は？

腎臓そのものの病気(慢性腎炎、慢性腎盂腎炎、多発性嚢胞腎など)が原因で起きる原発性のもものと、腎臓以外の病気(糖尿病、高血圧、痛風、膠原病など)の合併症として起きる続発性のものがあります。最近では続発性の割合が増える傾向にあります。高齢化に伴って糖尿病や高血圧の人が増えていることも主な要因と考えられます。

▼▼▼検査と診断は？

腎臓病の診断にあたって基本となるのは尿検査(蛋白、潜血、沈渣など)です。また慢性腎不全の確定診断のためには、血液中のクレアチニン濃度を調べる検査が基本となります。クレアチニンは腎臓のろ過機能が低下すると尿中に排出できなくなるため、血液中に増えてきます。したがってクレアチニン値が高いほど血液をろ過する腎臓の能力が低下していることとなります。

▼▼▼治療

一度失った腎機能を元に戻す治療法はなく、病状の進行をできるだけ抑え残っている機能を温存させることが最大の目的となります。基本的には食事療法が主となります。老廃物がで

先生  
おしえて!!

内科部長 小野 高志

慢性腎不全

vol.006



きやすくなる蛋白質や腎臓に負担のかかる塩分の摂取制限が必要で、また必要に応じて薬物療法を併用します。高血圧は病状を悪化させるため、降圧剤を使用して若い人で120/70mmHg程度、高齢者でも130/80mmHg以下にコントロールすることが必要です。この他に利尿剤、尿酸生成阻害薬、リン結合薬、尿毒素を吸着させる薬、貧血改善のための造血剤などを使用することもあります。病状が進行して腎機能が正常の10%以下にまで低下すると、働かなくなった腎臓に代わって血液中に含まれる有害な物質や不要な成分を体内から除去し必要な物質を補う治療法である透析療法(血液透析や腹膜透析)が必要になります。また透析療法の代わりとして腎臓移植手術があります。

▼▼▼予防と日常生活の注意点

睡眠を十分にとり規則正しい生活を送ることが予防と治療の両面での基本となります。急性期を除けば適度に体を動かすことも重要です。また、腎臓は水分が不足すると機能が障害されるので水分を十分摂取することも重要です。喫煙は全身の血管を収縮させ血圧を上げる作用がありますので禁煙することが必要です。

▼▼▼まとめ

2007年末の段階では日本には約27万5千人の透析患者がいます。残腎機能が50%を下回る腎不全患者は約600万人いるとされ、今後透析患者数はますます増加していくものと考えられます。さらに慢性腎不全患者は心筋梗塞や脳卒中を起しやすいことが知られており、慢性腎不全の早期発見、治療開始は透析導入を阻止するだけでなく生命予後の改善の意味からも重要です。検尿異常や血清クレアチニン値の上昇など腎不全の存在が疑われます場合は腎臓専門医への早めの受診をお勧めします。